

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	確かな学力定着事業	所管	教育委員会学校教育部 学校教育課
			TEL 2998-9238

事業の目的 (何の為に 行うか)	所沢市の児童生徒一人一人に確かな学力を確実に身に付けさせるため。
------------------------	----------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市内小・中学校在籍児童生徒全員を対象とする。	対象とした数	25,849	人
		実際に 利用した数	25,849	人

活動の内容	(何を したか)	①小学1年～5年の国語、算数の学力調査(小学2年～6年の4月実施)と、所沢市独自に作成したステップアップ調査を実施し、児童生徒一人一人の評価資料を得、その分析をもとに、指導に生かす。 ②市独自のドリル(「学びノート」)を作成し、全児童生徒に配布し、活用していく。 ③英語学びノート(DVD版)を小学校3年,中学校1年に配布し、活用していく。								
	活動実績	項目名	学力調査の実施	17.728	項目名	学びノートの配布	25.849	項目名		単位
			-----	人		-----	冊			-----

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	6,547	6,078	11,714	34.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	学力調査の平均点	得点の総和/人数の総和(平均点)	80	78.1	97.6
			-----	-----	-----
			単位 点	単位 点	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了				
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了		
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130100	TEL	2998-9238
事業コード	確かな学力定着事業		教育委員会学校教育部 学校教育課			
130101		グループ	指導担当			
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び、文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	1 教育内容の充実	小柱	(1)確かな学力の定着
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ… H19 A H20 A						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		3261		事務事業見直しの推進		コード			
事業開始の背景		平成15年度から学校週5日制の完全実施に伴う、授業時数の減少と学習内容の削減による学力低下への市民の懸念や不安に応えるために実施。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	所沢市の児童生徒一人一人に確かな学力を確実に身に付けさせるため。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	所沢市内小・中学校在籍児童生徒全員を対象とする。				「学びノート」および国語・算数・学力調査の利用者				
	対象数	単位	平成 18 年度	25,968	人	利用数	単位	平成 18 年度	25,968
		平成 19 年度	25,849	人			平成 19 年度	25,849	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
①小学1年～5年の国語、算数の学力調査(小学2年～6年の4月実施)と、所沢市独自に作成したステップアップ調査を実施し、児童生徒一人一人の評価資料を得、その分析をもとに、指導に生かす。									
②市独自のドリル(「学びノート」)を作成し、全児童生徒に配布し、活用していく。									
③英語学びノート(DVD版)を小学校3年、中学校1年に配布し、活用していく。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		◀ 最終評価		<input type="checkbox"/> 一次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 二次評価	▶
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
国語、算数・数学の「学びノート」のより一層の活用をはかるために、「学びノート活用検討委員会」を開催し、活用リーフレットの発行及び小中学校の教科書改訂にあわせて改訂作業を行った。また、国語の学びノートの内容と連動させた「百人一首大会」と「親子童謡大会」を実施した。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		7,434	6,547	6,426	
	決 算 (見込み含む)		6,870	6,078		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費	0.50 人	4,600	0.60 人	5,636	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費					
	事業費合計		11,470	11,714		
	財源内訳	一般財源	11,470	11,714	6,426	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			33.9	34.5		
利用数一単位あたり(単位:円)			441.7	453.2		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	学力調査の実施	実施人数	人	17.725	17.728	14.791	
		学びノートの配布	配布冊数	冊	26.058	25.849	25.892	
	成果分析	学力調査の平均点	得点の総和/人数の総和(平均点)	点	目標値	80	80	80
実績				77.1	78.1	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1	
% 達成率				96.4	97.6			

⑦一次評価	評価項目	現 状 評 価	評価項目	現 状 評 価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	国語、算数・数学のドリルのより一層の活用を図る必要がある。新学習指導要領の改訂に伴い、内容を見直し、改訂を行う必要がある。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	学力調査の結果考察を県の学習状況調査等とあわせ、広く考察を行う。新学習指導要領の改訂に伴い、学びノートの内容を見直し、改定を行う。	考察のための組織を作成し、諸調査から児童生徒の実態を把握する。 ページ内容の部分改定をおこなう。	組織立ち上げを7月、考察を12月までに行う。 平成21年2月	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
新学習指導要領の趣旨や内容にあわせ、学びノートの内容の改定とより一層の活用を図るため。					
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	学校教育課長 内野 正行		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
事前評価	部内優先順位… 13 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業			
		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業			
		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			
評価理由	これまでは「学びノート」の作成と浸透に注力しているが、今後は学習成果につながる活用方法の検討が必要であるという点から総合評価を「拡充」とした。予算については、平成23(小学校)、24(中学校)年度の学習指導要領の改訂に合わせてノートを改訂するためとして、一次評価では「増額」としているが、計画的な進行により「現状どおり」の範囲で行うべきと考える。				
評価日	9月1日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	施策の体系		施策の方向		
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					